

東高

国際だより

平成30年2月19日
京都府立東舞鶴高等学校
国際教育部発行

vol. 10

2年 国際文化コース 志楽小学校英語レクチャー体験(2月8日)

2月8日(木)、志楽小学校の4年生(58名)の皆さんに、英語を教えるレクチャー体験をしました。この取り組みに向けて「異文化理解」の授業で準備をしてきました。数字、顔の名称、または物の形を表す表現を学んでもらった後、それを使ったゲームを一緒にしました。この英語レクチャー活動は、今年で5回目となりました。

一緒に発音してね!

数字と時刻の聞き方答え方を教えています。みんなよく知っていて、びっくり!

この箱の物って、どんな形ですか?

round かなあ

Up, up!!

英語の福笑い、おもしろいな。

わかった!
ボールや!

感想:

○普段教えることがないので、新鮮でとても楽しかったです。また、小学生と触れ合える機会もめったにないので貴重な経験でした。教えることは難しいことだと感じました。

○うまくいくかどうか不安でしたが、授業で行ったリハーサルを通して、時間の使い方を改善して臨みました。しっかりと先生をやりつつも、小学生と近い距離でコミュニケーションをとりながら、授業をすることができたと思います。

○今回の体験を、今後の進路選択などで生かしたいです。

What do people do on Valentine's Day in the U.S.?

日本ではバレンタインデーにチョコレートを贈るのが定番ですが、アメリカ合衆国ではどんなことをするのでしょうか。本校のAETの先生に聞いてみました!

Veronica 先生

Valentine's Day is an extremely popular holiday celebrated in the U.S. The U.S. observes this holiday to honor Saint Valentine and to express love to dear ones. People express gratitude and love for sweethearts, teachers, parents or any other person close to them. Men and women will give gifts like chocolate and flowers to each other. People go on dates and send cards telling others how they are special to them. I look forward to Valentine's Day and I am excited to celebrate Valentine's Day in Japan!

(男性と女性どちらもがプレゼントを交換するようですね。)

Levi 先生

In the US, both men and women (mostly men) give presents to their boyfriend/girlfriend or husband/wife on February 14th. Some popular presents are Valentine's cards, chocolate and roses. Roses in the west have different meanings based on their color. A red rose represents love, yellow represents friendship and peach represents thankfulness. Valentine's Day is also known as Single Awareness Day, for those who don't have a romantic partner to spend the holiday with. Hope you get some chocolate this Valentine's Day!

(手渡すバラの色によって意味が異なるそうです!面白い!)

もうすぐ卒業の3年国際文化コースの和田真佐希君(白系中出身)に

インタビューしました。

①なぜ国際文化コースを選んだのですか。

他校にはない珍しいコースだったのが気になり選びました。また、校外での学習が多く、直接異文化に触れることができると姉から聞いたのが主な理由です。

②国際文化コースで学んでよかったと思うことは何ですか。

人の前で発表する機会が多かったことが僕にとって良い勉強でした。なぜなら、国際文化コースに入るまで、緊張しやすい性格だったからです。しかし、様々な発表を多くの人の前ですることにより、今では自分に自信を持って話すことができるようになりました。こういった点が国際文化コースでしか学べない魅力だと思います。



「**昨年の留学報告会で英国スコットランド・エディンバラ語学研修での体験を発表しました!**」



「国際だより」は上のQRコードからもアクセスできます。

Namaste ~ネパールからの手紙~

昨年度から、青年海外協力隊員としてネパールでボランティア活動をしている英語科吉積勇人先生からのメッセージをお届けします。

皆さんナマステ!

ネパールは寒さが和らいできて、各部族の新年を迎え始めました。至る場所でお祝い事が行われており、皆仕事が手につかない雰囲気です。

そんな中私は数か月に及ぶ教材作成活動を行っていたのですが、先日遂に自作のワークブックが完成しました。書き込み式、練習問題多数、ネパール語多用等が特徴なのですが、おそらく日本の視点で考えると「だから?」といった印象ですよね?実はこれらの観点はネパールの学校に欠落している要素なんです。

ネパールで使われている英語の教科書は、すべて英語で記載されており、練習問題が非常に少ないです。授業のスタイルも先生が40分ひたすら話し続け、先生が黒板に書いたことをノートに写したり、先生が言ったことを復唱するだけという受け身型がほとんどです。大抵の生徒は6教科に対してノートを一冊しか持っていない場合が多く、家庭によってはノートや鉛筆を買い渋ることもあります。書く練習が極端に少ない一方で、試験では書いたものが評価され、その成績によって人生が左右されることが多いです。現状では、10年生(15~16歳)になっても自分の名前を完璧に英語で書けない生徒が多数います。

これらの教育問題に疑問を感じ、JICAのサポートを受けて英語ドリルを出版しました。驚くべきことは、生徒に配布したところ、何の指示もしていないにも関わらず一日で20ページ以上取り組んでくれる生徒が多数いました。この現象から、ネパールの子どもの「勉強したい」という強い意志を感じました。よく日本の英語教育は批判されがちですが、日本の英語教育だからこそ、できた支援なのではないかと思っています。皆さんが当たり前だと思っている学習方法や環境は、国境を超えると羨ましがられるものなのかもしれません。

JICAのボランティア隊員としてのラストスパートをかけて日本へ帰りたと思います。早く魚が食べたいです。それでは、次号のナマステ通信をお楽しみに。

